

西宮中学校の改築
及び
(仮称)コミュニティふらっと宮前の整備



これまでの経緯について

○最も古い校舎が築61年（当時）となる西宮中学校について、令和3年度に改定された『杉並区立施設再編整備計画』において、改築が計画化された。

■令和4～5年度（2022～2023年度）

「西宮中学校・宮前図書館改築検討懇談会」を実施（7回開催）

○懇談会での主な意見

中学校のグラウンド（約 4,400 m²）は現在でも運動会や部活動を行う広さとしては十分ではなく、改築に当たっては、現在と同規模又はそれ以上を確保してほしい。

区立施設が今後集中的に改築時期を迎える中、施設の効率化や複合化の必要性は理解するが、図書館との複合化だけでなく、周辺の区立施設の再編を含め、地域全体を見渡して検討すべきではないか。

○支援業務において…

配置・平面計画の検討を行ったところ、一定のスリム化を図ったうえで複合化した場合であっても、現在と同規模のグラウンドを確保するためには、学校・図書館ともに一部地下化（概ね 1,000 m²）が必要となり、コスト増となることが判明



○中学校及び図書館に限らず、周辺の区立施設を含む地域全体について改めて検討することとした。

■令和6年度（2024年度）

「西宮中学校の改築と老朽化した周辺施設の更新等に関する検討」を実施

（ワークショップ5回、地域意見交換会1回、結果報告会1回）

老朽化している西宮中学校とその周辺施設についてどのように建て替えなどを行っていくのか（建物配置）を中心に、様々な立場の皆さんと共に考えるため、ワークショップ等を開催。



▲西宮中学校



▲宮前図書館



▲さざんかステップアップ教室「宮前教室」
(宮前図書館との併設)



▲大宮前保育園



▲ゆうゆう大宮前館
(大宮前保育園の2階)

杉並区区立施設マネジメント計画（第1期）第1次実施プラン
令和6（2024）年度一部修正（令和7年1月）



○西宮中学校を改築するとともに、新たに（仮称）コミュニティふらっと宮前を西宮中学校に併設します。
○ゆうゆう大宮前館は（仮称）コミュニティふらっと宮前に機能継承し、利用者の活動場所を確保します。

○大宮前保育園は、現在の用地で改築します。

○宮前図書館及びさざんかステップアップ教室「宮前教室」は現在の用地で改築します。

【この計画に決定したポイント、考え方】

参考資料5：西宮中学校の改築と老朽化した周辺施設の更新等に関する検討 「検討まとめ」 P42～

プランを決定する際の考え方①

※西宮中学校の改築と老朽化した周辺施設の更新等に関する検討 「検討まとめ」より一部抽出

- ・仮に学校を単独施設として整備する場合も地域に開いていく仕組みが必要。
- ・学校の面積を十分に確保できるのであれば他の施設と併設していく可能性もある。

「杉並区教育ビジョン2022推進計画」では

- ・学校等の教育施設を、区民が生涯にわたって豊かに学ぶことができる施設とするとともに、人が交わりつながる基盤となる「学びのプラットフォーム」として整備していくことを掲げている。
- ・何よりも子どもたちのための教育施設であることを大切にした上で、地域の拠点となる開かれた学校として多くの区民の施設需要に応えるとともに、将来の児童・生徒数の減少を見据えた、柔軟性のある施設づくりが求められている。

「学びのプラットフォーム」

身近な学校を、放課後や休日など、学校教育以外の場面で子どもたちや地域のために活用したりすることで、区民誰もが世代を超えて学び合い、教え合うことができる場を広げていこうとする区独自の考え方です。

プランを決定する際の考え方②

※西宮中学校の改築と老朽化した周辺施設の更新等に関する検討 「検討まとめ」より一部抽出

中学校内に学校施設として複数の集会室を設けた場合

- ・使用時間を学校が使わない夜間や休日に限定する場合は、日中の活動が中心となるゆうゆう館利用者の活動場所としての活用は困難
- ・集会室の貸し出しや清掃等に伴う中学校の管理負担の増大や、集会室利用者が学校内に入ることによるセキュリティの確保が課題
- ・集会室を貸し室使用することが中心になるため、集会施設の運営事業者が実施している各種講座や多世代交流イベントの実施等は困難

中学校に集会施設を併設した場合

- ・教育活動や部活動、地域ボランティアによる中学生向けの活動における活用ができる。
- ・災害発生時の震災救援所機能の向上等、施設が有効活用される。
- ・中学生や地域住民への幅広い相乗効果が見込まれる。
- ・中学校の管理負担の軽減や、集会施設の運営事業者によるイベント実施等が期待できる。

プランを決定する際の考え方③

※西宮中学校の改築と老朽化した周辺施設の更新等に関する検討 「検討まとめ」より一部抽出

★決定したプラン★

- ・中学校を単独改築した場合と比べ、より一層、地域の拠点となる開かれた学校として整備することができるため、中学校に集会施設を併設する。
- ・ゆうゆう大宮前館を機能継承し、利用者の活動場所を確保するが、宮前地域に多世代が利用できる集会施設がないことや、中学生をはじめとした幅広い世代への効果が見込まれることを踏まえ、多世代型の集会施設「コミュニティふらっと」として整備し、地域の学びと交流の拠点となることを目指す。

●学校教育に必要な諸室や機能の充実、現在と同等あるいは同等以上の校庭面積の確保については、中学校を単独改築した場合と同様に行っていきます。

●コミュニティふらっと利用者が中学校の区画に許可なく立ち入れないようにする、中学生のプライバシーに配慮して建物配置を工夫する等、ワークショップ等における懸念点は、令和7年度（2025年度）以降に実施する基本設計等に生かしていきます。

改築・整備にあたって目指すイメージ（案）

※西宮中学校の改築と老朽化した周辺施設の更新等に関する検討 「検討まとめ」より一部抽出

中学校

- ・中学生の学びの場を第一に考え、学校教育に必要な諸室や機能を充実
- ・現在と同等あるいは同等以上の校庭面積の確保
- ・学びのプラットフォームとして地域の拠点となる開かれた学校

コミュニティふらっと

- ・多世代が気軽に利用できる施設、多世代交流イベント等も実施
- ・ゆうゆう大宮前館の機能を継承、高齢者団体の活動場所を確保
- ・教育活動や部活動、地域ボランティアによる中学生向けの活動にも活用

震災救援所

- ・機能の充実(防災備蓄倉庫、マンホールトイレ等)
- ・「コミュニティふらっと」も災害時には震災救援所機能の一部として活用

改築・整備にあたって配慮すること（案）

※西宮中学校の改築と老朽化した周辺施設の更新等に関する検討 「検討まとめ」より一部抽出

セキュリティ対策

- ・学校とコミュニティふらっとの出入口は別々にし、動線を分離する。
- ・それぞれの区画には許可なく立ち入れないように工夫する。
- ・時間帯による施錠管理、防犯カメラ等の設置 等

プライバシーへの配慮

- ・中学生のプライバシーを意識した建物配置
- ・目隠し対策 等

令和7年度（2025年度）～ 改築等検討懇談会の目指すところ

<懇談会の目的> 運営要綱第2条

懇談会は、杉並区立西宮中学校の老朽化に伴う改築及び（仮称）コミュニティふらっと宮前の整備に関し、次に掲げる事項について広く意見を聴くことを目的とする。

- (1) 改築及び整備における基本的な方針に関すること。
- (2) その他改築及び整備の基本設計に反映する必要な事項に関すること。

前半

改築及び整備における**基本的な方針**に関することの検討



区による設計事業者選定(プロポーザル方式)



後半

校舎・施設の**配置・平面計画及び基本設計(案)**の検討

西宮中学校の概要について



西宮中学校の概要

■生徒数・学級数の推計（令和7年度は4月の速報値）

年月日	生徒数	学級数
令和7年度	331	9
令和8年度	323	9
令和9年度	308	9
令和10年度	315	9
令和11年度	311	9



■施設規模 等

敷地面積	校舎面積	運動場面積	体育館面積	プール
10,808㎡ (直近の測量結果 10,077㎡)	5,033㎡	4,635㎡ (※)	843㎡	25m×10.2m

※建物用地以外の面積。授業や部活動等で使用できる校庭の広さは約4,400㎡。

西宮中学校 校舎の状況

昭和36年 設立

(区立宮前中学校西分校が独立し区立西宮中学校として設置される)

昭和38年 体育館完成

昭和39年 プール完成

昭和41年 給食室完成

昭和55年 テニスコート、校庭フェンス等工事完了

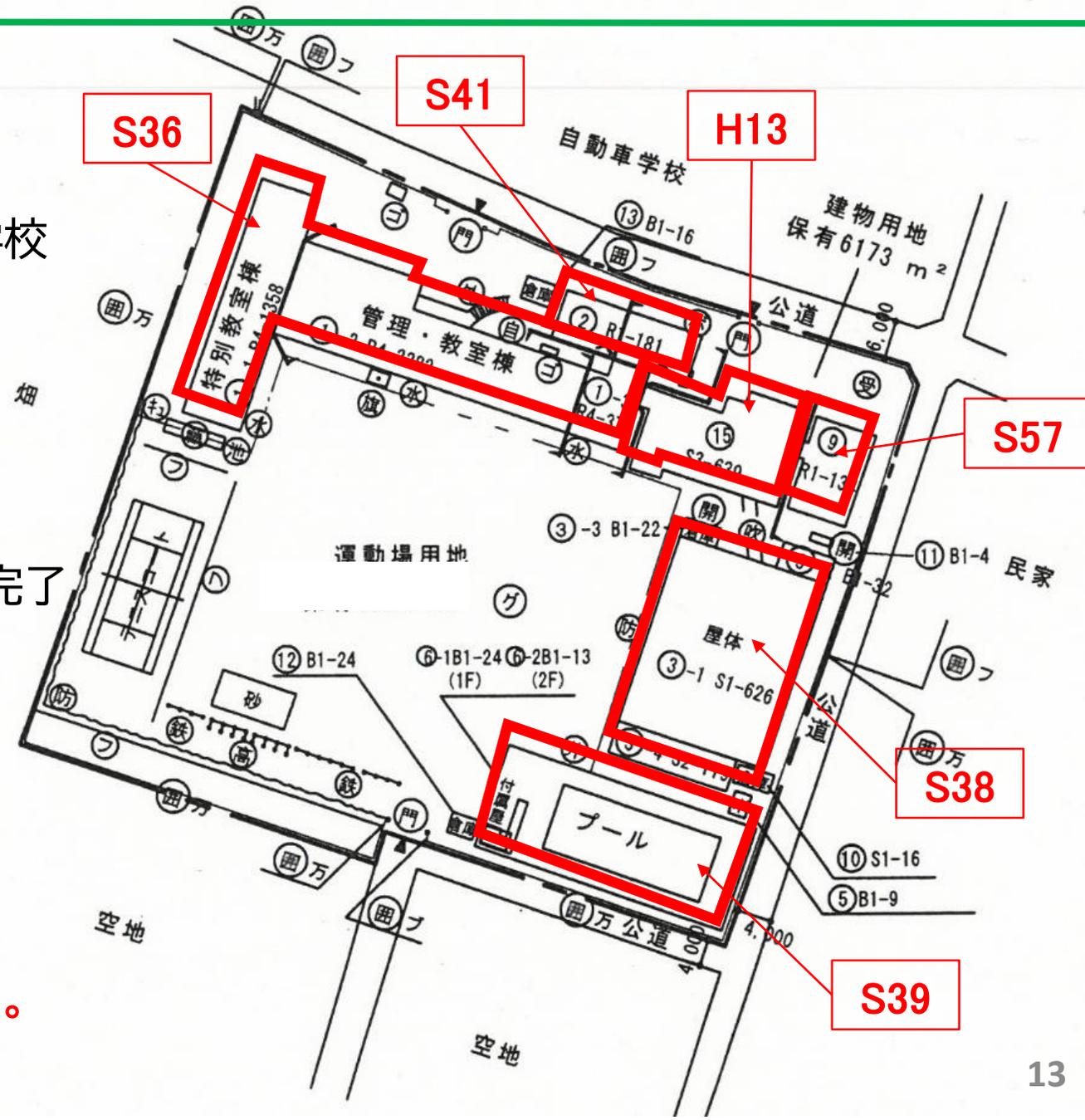
昭和57年 家庭科室部分増築

平成12年 校舎耐震補強工事

平成13年 北東校舎改築

(1階会議室・教育相談室、2階多目的室)

※最も古い管理・教室等、特別教室棟で、築64年。



①将来を見据えた教育環境の確保

- ・安全・安心で、快適に過ごせる学習・生活空間の整備
- ・多様な教育に対応できる学習環境の整備
- ・地域の拠点となる開かれた学校づくり
- ・将来転用可能な柔軟性のある施設づくり
- ・環境に優しい施設づくり

②学校施設の標準規模の見直し

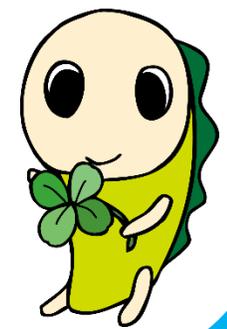
- ・改築規模の見直しによる一定のスリム化への取組
- ・地域の核となる施設としての適切な施設規模の確保

改築検討における主な視点

※『杉並区立学校施設整備計画』より

- ・将来の生徒数の変化を見込んだ施設づくり
- ・さらなる防災機能の充実や地域に開かれた学校づくり
- ・コスト面等を含む総合的な視点に立った施設づくり
- ・適切な維持管理のもと、築80年を目指した長寿命化の考え方に基づく改築
- ・懇談会等での保護者、学校関係者、地域住民等の意見を踏まえた検討
- ・学校プールのあり方については、今後多方面から検討していく予定

コミュニティふらっとについて



コミュニティふらっととは

乳幼児親子を含む子どもから高齢者まで、誰もが身近な地域で気軽に利用でき、世代を超えて交流・つながりが生まれる新たな地域コミュニティ施設です。

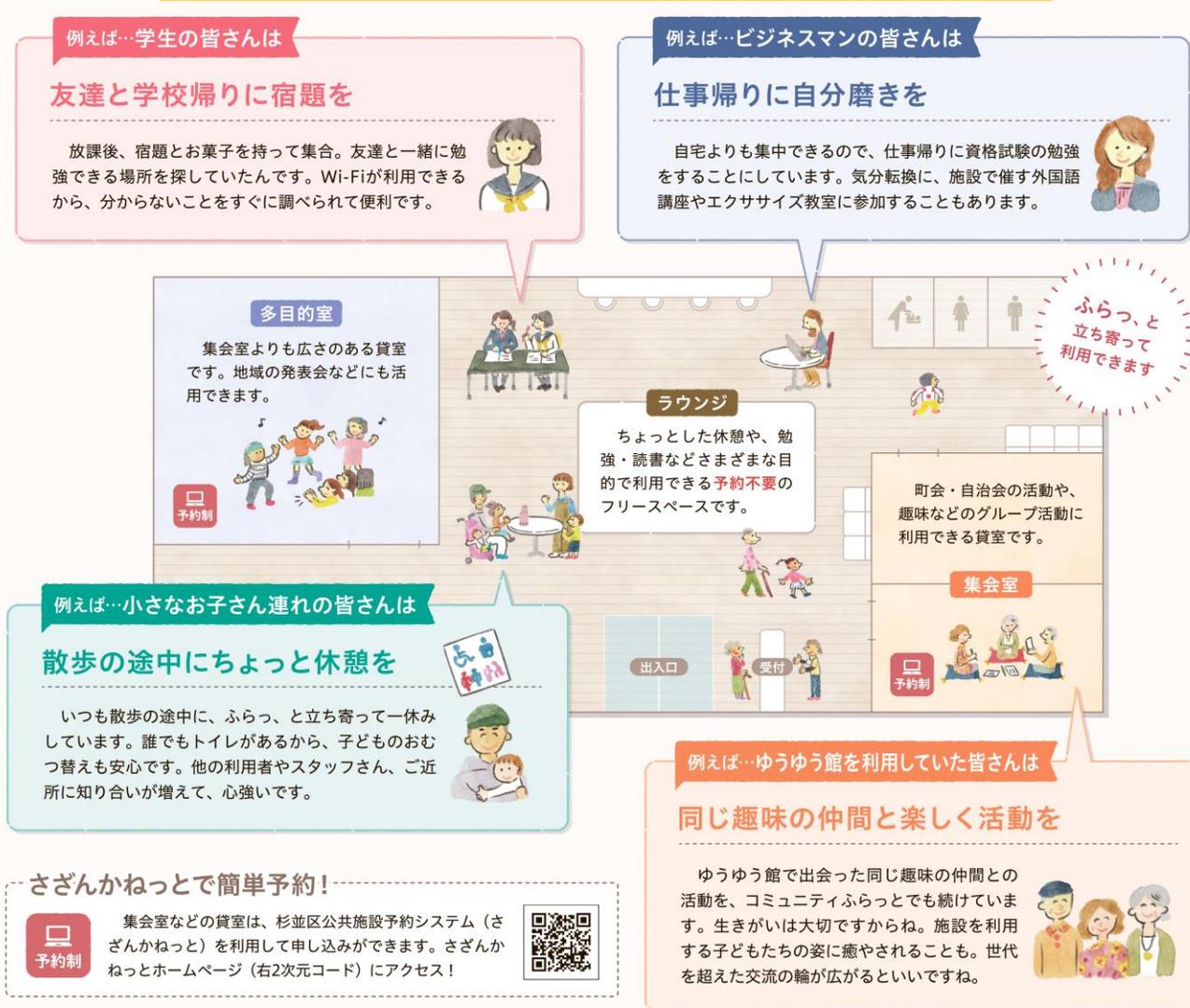
コミュニティふらっと(標準規模)のイメージ



ラウンジ



カウンター席(ラウンジ)



多目的室



集会室

コミュニティふらっとの特徴

■高齢者団体優先枠

- ゆうゆう館を利用している団体の活動場所を確保することができるよう、一部の部屋・時間帯に「高齢者団体優先枠」を設け、一般利用者に先駆けて申し込みができる仕組みとしています。
- 高齢者団体優先枠の制度内での使用の場合は使用料を免除します。(令和7年度下半期分から)
- 「高齢者団体優先枠」を設定しない部屋・時間帯も設けることにより、一般利用者とのタイムシェアを図っています。

	午前 (9時～12時)	延長	午後1 (13時～15時)	延長	午後2 (16時～18時)	延長	夜間 (19時～21時)
部屋A	優先枠		優先枠		優先枠		優先枠
部屋B	優先枠		優先枠		優先枠		
部屋C							
部屋D							

埋まらなかった枠は、空き枠として、一般利用者も使えるようになります。

■多世代交流イベント、自主事業

- 身近な地域におけるコミュニティの形成に資するため、子どもから高齢者までの全ての世代が交流することができるよう全館型の行事を企画し、年2回実施しています。
- 地域特性を踏まえ、施設を運営する事業者が、子どもから高齢者まで全ての世代の交流を目的とする講座やサロン等の自主事業を実施しています。



多世代交流イベントの様子



自主事業の様子

ゆうゆう大宮前館について



ゆうゆう館とは

■ 利用対象者:杉並区にお住まいの60歳以上の方々

■ 施設数:26施設(令和7年(2025年)4月時点)

昭和38年(1963年)に上荻窪敬老会館を開設して以降、各地域に3~6か所(合計32館)の敬老会館(現ゆうゆう館)を設置してきました。現在は、32館のうち、6館をコミュニティからっとに機能継承しています。

■ 開館時間:午前9時~午後9時(日曜日・祝日 午前9時~午後5時)(第3木曜日 午後1時~午後9時)

■ 利用方法(個人利用及び団体利用は無料)

個人利用	一般和室または談話室・談話コーナーで、テレビ・囲碁・将棋などを自由に利用可能
団体利用	趣味やいきがづくりなどの活動に、洋室・和室・茶室・講座室・多目的室・ホールなどを利用可能
目的外使用	空いている部屋がある場合は、一般の方も 使用可能(要事前予約/有料)

■ 協働事業

各ゆうゆう館の施設運營業務を担うNPO法人などの団体が、「いきがい学び」「ふれあい交流」「健康づくり」などに関する講座・催し(スマホ講座・囲碁・卓球・ヨガ・コーラスなど)を実施しています。※事業により参加費がかかります。

▲三療サービス(有料)

区が、ゆうゆう館や高齢者活動支援センターにおいて、高齢者の健康保持・向上を図るため、介護予防の一環としてマッサージサービス等を実施しています。

ゆうゆう大宮前館の特徴

■ 築年数・延床面積・部屋数等

築年数	延床面積	洋室1	洋室2	洋室3	構造
60年 (S40年築)	199.44㎡	57.9㎡	22㎡	23.7㎡	鉄筋コンクリート造 エレベーター未設置



▲洋室1



▲洋室2



▲洋室3

■ 活動団体数

26団体(令和6年度(2024年度)下半期)

■ 団体人数

259人(令和6年度(2024年度)下半期)

■ 利用者の傾向

- ・70代、80代の利用者が多い
(令和5年度(2023年度))

60代	70代	80代	90代以上
11.4%	37.9%	45.8%	2.1%

※小数点第2位四捨五入

- ・団体利用の登録は周辺住民(※)が多い
(約65%)

※施設から半径500m圏内の丁目にお住まいの方

ゆうゆう大宮前館の利用実績

①稼働率

(令和5年度(2023年度))

部屋名	施設全体	9~12時	13~17時	18~21時
洋室1	53%	71%	76%	9%
洋室2		75%	73%	21%
洋室3		73%	49%	16%

(参考)

ゆうゆう館全体稼働率

⇒約52%

(高齢者活動支援センターは含まず)

②利用人数の推移

※協働事業参加者等を含む

令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)
9,442人	5,155人	7,149人	7,617人	8,289人

今後の進め方、スケジュール 等



今後の進め方イメージ（懇談会開催予定等）

回数	月	検討内容等(案)
第1回	令和7年 4月	情報共有:これまでの経緯、西宮中学校・コミュニティふらっと・ゆうゆう大宮前館の概要や特色
第2回	令和7年 5月	改築規模・諸室、基本方針(たたき台)
第3回	令和7年 6月	事例見学
第4回	令和7年 7月	基本方針(案)



入替える可能性あり

令和7年9月～11月 設計事業者選定(プロポーザル方式)

回数	月	検討内容(案)
第5回	令和7年12月	設計事業者提案
第6回	令和8年 1月	配置・平面計画(1)
第7回	令和8年 3月	配置・平面計画(2)
第8回	令和8年 5月	配置・平面計画(3)
第9回	令和8年 6月	基本設計(案)

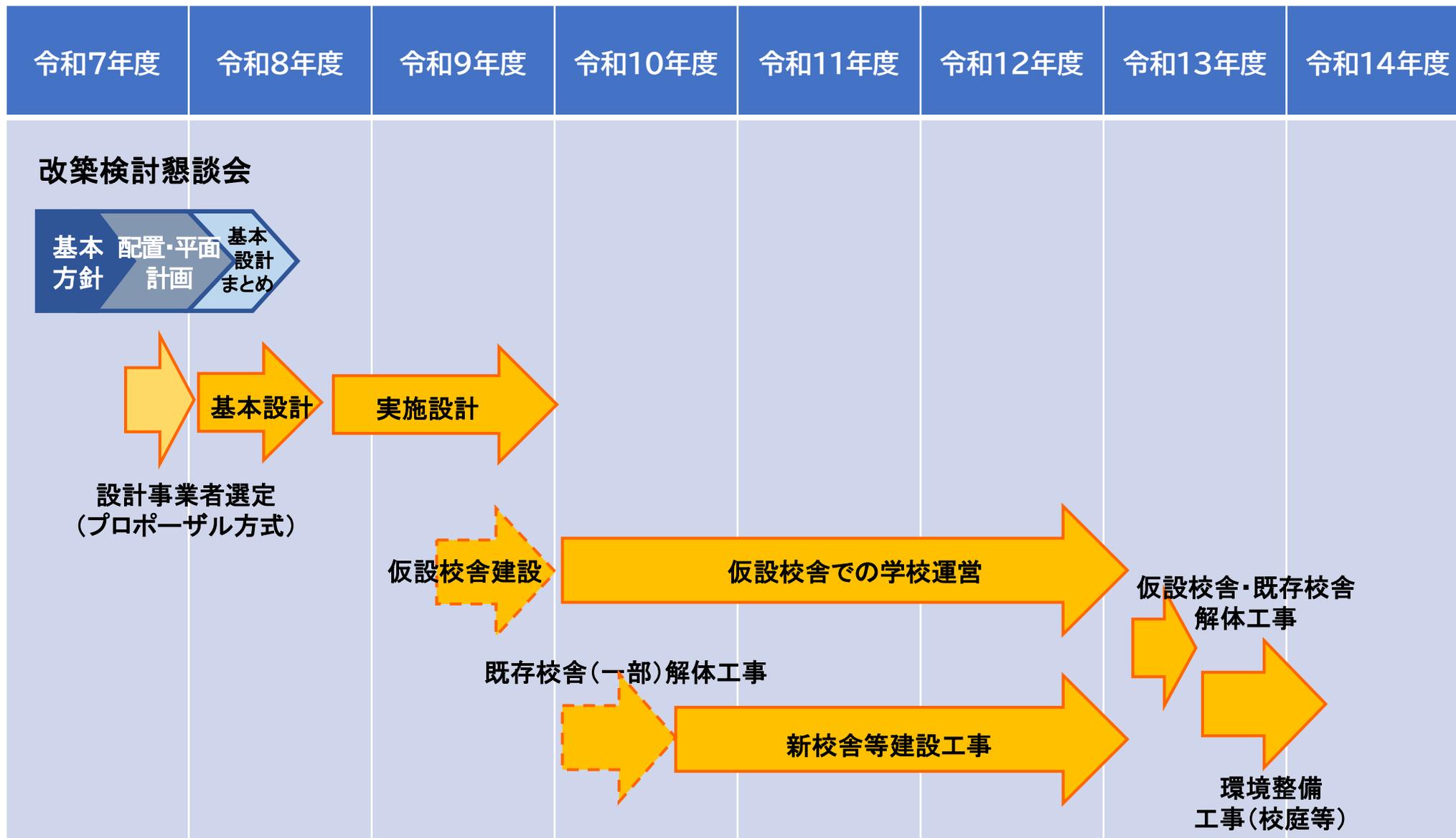
※進め方は、今後の懇談会での議論等を踏まえて、必要に応じて見直していきます。

その他、今後実施予定

実施時期	内容	対象
5月～	(仮称)改築ニュースの発行、適宜配布	・地域住民の方 ・西宮中学校の生徒 ・ゆうゆう館利用者 等
6～7月頃	アンケート調査等	・西宮中学校の生徒 ・西宮中学校の教職員 ・ゆうゆう館利用者 等

アンケート等の結果は改築等検討懇談会の議論に生かせるようにします。

改築スケジュール（予定）



※上図は、現在想定しているスケジュールです。校舎配置等により、工事工程や工事期間が変わる場合があります。

※懇談会の議論や工事の進捗等を踏まえ、適宜『(仮称)改築ニュース』を配布し、関係者への周知を行います。